

Q4 文章の内容の読み取りが苦手な子どもには、どう対応したらよいでしょうか

子どもの状態

文章の内容に関することを尋ねても答えられない。
あるいは名詞や一語文で答えてしまう。
5W1Hに関する質問に答えられない。
読み取ったことを、言葉以外の動作や絵に表すことにも困難を示す。

考えられる対応

読み取りに取り組めるように、子どもが体験したことや興味のあることに関する文章を教材に用いる。

教師が範読して、文章の内容のあらましがつかめるようにする。

文章の内容に合った絵や写真を提示して、視覚的な情報を補い、内容理解を助ける。(図85)

文字カードを読んで絵カードを選択するなど、ゲームのように取り組めるようにする。

単語や分節の区切りごとに/線を付けたり、ラインを引いたりする。あるいは、行間を大きく取った教材を提供して、子どもが文章を読みやすい状況をつくる。

読み取った内容を動作化したり、絵に描いたりなどイメージ化を図って内容理解を助ける。(図86)

内容理解のポイント・質問事項を事前に知らせておき、子どもがそのポイントや質問の答えを意識して探しながら読めるようにする。

あらかじめキーワードにアンダーラインを引いておき、それを手掛かりに読み取るようにする。(図87)

家庭でも「しりとり」「なぞなぞ」などの言葉遊びや絵本の読み聞かせなどの機会を設ける。

状態の理解のポイント

- ・ 語彙が少なく、読んだ内容を理解できない。
- ・ 読んだ文字を具体物や事象と結び付けるのに時間が掛かる。
- ・ 正しく読むことに注意を傾け過ぎて、内容理解のゆとりがない。
- ・ 読んだことを記憶して再生するのが困難である。



図85 視覚的な情報の補充



図86 動作化による内容理解

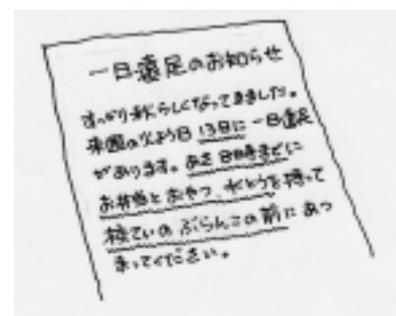


図87 キーワードの明確化